

第25回 町田市景観審議会専門部会 会議録要旨

日時	2016年8月18日(木) 午後2時00分～午後3時00分
場所	町田市役所10階 10-2会議室
出席者	<p><委員>(敬称略)</p> <p>鈴木伸治、田口敦子、二井昭佳、天野真、(4名)</p> <p><事務局>地区街づくり課職員(5名)、都市政策課職員(4名)、 東京急行電鉄株式会社、株式会社東急設計コンサルタント(5名)</p>
傍聴者	3名

- 会議内容
- あいさつ
 - 会議の成立(定数確認・欠席者の報告)、会議の公開に関する報告(傍聴者報告)
 - 部会長・職務代理の選出
 - 調査・審議事項
 - ・議題16-01号 「南町田駅周辺地区拠点整備事業」における
景観形成の考え方について

- 配布資料 ○次第

■議事

- あいさつ
- 「町田市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定による会議の公開に関する報告(傍聴者3名)
- 調査・審議事項

・議題16-01号 「南町田駅周辺地区拠点整備事業」における景観形成の考え方について

【部会長】 前回、これから南町田の整備を行うに当たって、どの様なことを大事にすべきかということについてご意見をいただいた状態になっていたかと思う。それ以外にもその後、委員の皆様には現地視察もしていただきながら意見を少し集約していったかと思う。今日は、前回出た意見も踏まえて、市で全体のコンセプトをまとめてきているので、その内容について議論していきたい。

【事務局】 前回の専門部会を受け、事務局として地区の特性・歴史・地形、上位計画の中で南町田の位置づけの整理と南町田駅周辺地区拠点整備方針について、南町田駅周辺における景観形成の考え方、コンセプトについてまとめた。

(中略、事務局より地区の特性・歴史・地形、上位計画の位置づけについて説明)

次に、南町田駅周辺における景観形成の考え方、コンセプトについてである。前回の専門部会にて市民の方々と共有できるコンセプトが明確になっていないのではないかとご意見をいただいたので、歴史・地形及び上位計画をもとに、市の南の玄関口としてふさわしい南町田における景観形成の考え方をまとめた。

まず全体的なエリアの景観のコンセプトについて、“みんなと新たなパークライフ”という言葉を使ってはどうかと考えている。これは、南町田ならでは新たなパークライフを送ることができる空間を目指していきたいとし、公園のみならずエリア全体でみどりを感じられ、世代間を問わず、「訪れる人」「地元の人」「立ち寄る人」など多くの方がこの場所に集い新たな交流が生まれてくる。周辺の市街地にも配慮する景観があり、地域から愛着を持たれる親しみがわく場所となり、駅に近い環境と公園、商業が重なり合うことで生まれる「にぎわいと交流」、人々がゆったり時間を過ごすことができ、心と体が同時に健康になれるような、そんな「日常生活+α」するような場所を目指していきたいという思いを表している。

また、この全体コンセプトをもとに、3つの景観づくりの方針も示している。

1つ目として、「にぎわいと交流の景観づくり」という方向性を挙げている。これは、駅からみどりの気配を感じ、商業施設に入ると広場では買い物を楽しんだ方が一休みしているような広場や、その広場の中でお店のイベントや地元の催し物などが開かれ、多くの人が楽しく集う空間が生まれることを表している。また、公園と商業が重なり合う融合ゾーンの場所では、買い物や散歩、スポーツなどをした人が思い思いにたたずみ、みどりとにぎやかな雰囲気を楽しみながら仲間とおしゃべりをしているような空間を目指したい。その他、公園の広場では、お祭りなどの地域の行事が行われ、地元の絆が引き継がれつつ、そこに買い物に来た方もしくはスポーツ公園を訪れた方々などがお祭りに加わり、新たな交流が生まれてくるというようなイメージを持っている。

2つ目に、「ゆったりと時間を過ごせる景観づくり」ということで、施設の中にも、みどりやにぎわいの風景が眺め、その風景をお茶を楽しみながら眺め楽しむような空間であったり、隣のお店で買って来たお弁当を公園で広げ、ピクニックをするような、仲間や家族、ペットと一日中楽しむような空間を想定している。水道みちやさわやか広場では、並木の下にベンチ等を置いて、木洩れ日を感じつつひなたぼっこをするような空間をイメージしている。

3つ目としては、「健康的に暮らすための景観づくり」を挙げている。みどりの中の通路を歩き、ベンチで休んで森林浴をしマイナスイオンを浴びてリフレッシュしたり、子どもが昆虫を見つけて思わず駆け出すような通路を森林の中に通してそこで活動していただく。また、ジョギングや散歩、サイクリングをする方々が公園からも川の気配を感じながら体を動かせる様なこともイメージしている。その他、家族や仲間が集まってテニスや、サッカーといったスポーツをみんなで楽しめるような空間も想定しこの方針を定めている。こういったものをコンセプトに据えて、今後の空間のあり方についてご意見いただきたい。

【部会長】

前回、大きなコンセプトがあるのかということや、特に活動のシーンがなかなか見えにくいというような意見もあり、できるだけ活動がイメージできるようにということや、今の鶴間公園の良い使い方のイメージを残しながら、新しい考え方を提案するというようなまとめ方をしているが、こちらについていかがか。

【委員】

先日、都市計画決定がなされて地区計画が定まったが、そのプロセスの中で歩行者通路や広場上空地については具体的に定まってきている面もあると思われる。当然のことながら、それなりに商業施設内ではあってもパブリックな空間というのをいかにつくっていただけるのかということが非常に大きなテーマとなると思うのだが、その商業施設内のみどりとといったものも積極的に導入して欲しいと改めて思う。その点についての具体的な景観形成の方針というのはどう位置付けられているのか。

- 【事務局】 まず、にぎわいと交流の景観づくりについて、駅に降り立った時からみどりや、にぎわいと
いった気配を感じさせるような空間づくりを進めていきたいと考えている。また、商業施設
の中においても、みどりをを感じるような空間構成であったり、その下でイベント等などの
様々な活動をみどりを感じながらやっていただきたいというようなイメージを持っている。
- 【委員】 説明されたコンセプトの中に、みどりをきちんととるという内容がなかった。気配を感じる
というのは、「公園が向こうにありますよ」という示唆にも取れる。町田市は一般に大規模な
開発をするときは緑化を義務として求めていたと思うが。
- 【事務局】 その通りである。
- 【委員】 そうであれば、当然のことながら、地区計画で公共的なスペースを定めていくのであれば、
ぜひ景観形成の方針として、商業地内での緑化のあり方についても具体的にもう少し踏み込
んで書けないだろうか。
- 【部会長】 今、景観づくりの3つの方針の中に「みどり」という言葉が入っていない。にぎわいと交流
についても、公園はもともとみどりがあるので、「みどりに包まれたにぎわいと交流の景観づ
くり」の様になっても良いと思う。
- 【事務局】 方針の説明においては「みどりをを感じる」ということが書いてあるが、コンセプトと景観づ
くりの3つの方針においてはみどりという重要キーワードが確かに入っていないので、入れ
ていきたいと思う。
- 【委員】 全体のコンセプトとしてパークライフという単語があるので、市民に向けてもそういうイメ
ージが中心になるのだということは伝わるとは思うが、答申である「南町田駅周辺地区拠点
整備事業における景観形成の考え方」は、そのようなことを市民に向けても知らせていくた
めのものであると考えると、商業地域の中でもきちんと緑化をするのだということがもう
少し具体的に位置づけられてもよいのではと思う。この事業の特徴である、普通のいわゆる
商業施設と公園の整備というわけではなく、2つ一緒にやることに意味があると思うので、
やはり公園が魅力アップされるということだけに留まらず、通常の商業施設の方にもこんな
変化があるのだということが、市民に向けてしっかりとメッセージとして示されることが大
事であると思う。
- 【部会長】 今のご意見は、例えばコンセプトの3つの方針の1つを「みどりに包まれたにぎわいと交流
の景観づくり」という表現にすると、駅前広場や商業施設にもみどりについてしっか
り書いておいたほうが、より市の今イメージしている空間がちゃんと言葉でも表現できるの
ではないかということである。
- 【委員】 既に融合ゾーンという言葉がある一方で、コンセプトの3つの方針である「にぎわいと交流
の景観づくり」の説明には「公園と商業が重なり合う場所」という言葉がある。融合させる
ことと重なることを両方することは難しく、この2つが出てくると受けとめ方が広がってし
まう。そこをもう少し分かりやすく市民の方にお話しができればいい。その他、駅前からみ
どりを配置していくという話があったが、ある意味ではみどりで公園までの景観のストー
リーづくりがこの地域では大事なのだと思う。その辺りの繋がりの様なことももう少し具体的
に強く出てきたほうがいいのではないかと。
- 【部会長】 単純に公園と商業が重なるということではなく、全体の景観コンセプトとなるパークライフ
という名前を商業地も含めてつけているということは、みどりに包まれた中に商業地があっ
て、公園があってというイメージであろう。

それでは、「融合することで」といった言葉の方が分かりやすいということだろうか。もっとみどりが勝っているような表現の仕方もあるかもしれない。みどりをできるだけ駅前や商業地にも置き、全体がみどりに包まれた中に駅があり商業地が埋まっているというイメージだと思うので、それをより伝えられるように、重なり合うという表現を融合という様な文章に変えたほうが良いかもしれない。

【委員】 にぎわいということについて、「南町田ならではの新たな」という言葉のキーワードの先がちよっと良く分からないところがある。それにみどりを持ってくるのであれば、にぎわいと交流の景観づくりで、みどりでどの様なことをしているのだろう。ゆったりと時間を過ごせる景観づくりの中で、みどりはどの様な機能をしているのだろうといったことを具体的に言葉の中で入れていけば、南町田ならではのということがはっきり出てきて、融合に繋がっていくストーリーになるのではないか。

【部会長】 3つの方針の中にはみどりというキーワードを散りばめることが意識してつくってあるのか。

【事務局】 全体として、みどりを感じるというのはイメージ通りであるが、もう少しご意見の通りみどりがどういう形で機能や働きをしているのかということをもっと具体的にしていきたいと思う。

【部会長】 「みどり」といっても、様々なみどりがあるということだろうか。例えば、3つの方針である「ゆったりと時間を過ごせる景観づくり」は鶴間公園を指している内容だが、もともと持っているみどりについて植生を活かしながらできるだけ大事にするという様なことに変えた方がよりみどりが具体化され、イメージが伝わりやすくなるかもしれない。

【委員】 ジョギングや歩く所にはみどりの繋がりがあるということや、にぎわいと交流の場であれば、みどりの休憩スペースが商業の中に点在しているという様な、イメージを沸き立たせるようなものと写真で説明があれば良いのではないか。

【部会長】 具体的に書けるところは、もう少し足してもらって良いと思う。

その中でコンセプトの3つの方針「健康的に暮らすための景観づくり」にも、みどりがもう少しあったほうが良いというご指摘である。

【委員】 町田市景観計画で、南町田周辺において何を求めるかということについて、まとまりがあるみどりを地域のシンボルとして維持保全すると書いてある。ここをやはりきちんと踏襲していただきたい。歴史的に見ても、鶴間公園の東側の部分は比較的かつての里山のような使われ方がされてきた場であり、公園のワークショップでもご意見が様々な方から出ていた。

この公園の東側の植生については、比較的昔からの様子を残している場であるということも分かってきており、融合ゾーンのところに丁度当たることからその様な場所においても植生や地形をなるべく改変しないようにしていくのが検討の方向性としては望ましく、それが景観形成の基本的な骨組みになると良い。

【部会長】 「南町田ならではの」について、これだけみどりが豊富にある所というのは逆に東京に近づけば近づくほど減っていく中で、1つの特徴かと思う。みどりの、もともとの植生や地形といった要素をどこに入れるのかということはあるが、少し文言として残す検討をいただくということでもよろしいだろうか。

それでは全体の大きな方向性については、もともとの植生や新しいものも含めた「みどり」を1つの核にしながら、その中で様々な活動が生まれてくるような景観をつくっていく、という考え方でよろしいか。

では、次の議題として、この議論をまとめていくに当たり、どの様なまとめ方が良いのかと

いう話がある。1つは、これが非常に大きなプロジェクトで範囲も大きく、市民の皆様にごう伝えていくのかという非常に大きな課題がある。部会長より別の場所で行った事例を紹介させていただいて、もしよろしければその様な方向性でまとめていければと考えている。これは、東日本大震災でかなり大きな被害を受けた岩手県の大槌町という所で取り組んできたものだが、その中の吉里吉里という地区の事例である。復興するに当たり、住民の方々がこれからこのまちで生きていくために、一体どの様にまちをつくっていかばいいのかという様なものをできるだけ分かりやすく、住民の方々と議論してまとめたものである。そこに全体の大きな方針と、個別的に大事な場所を選び、例えば広場が大事なのではないかということや、海に向かう道を大事にしようといった全体の概要を書いた見取り図の様なものを1枚つくっている。

以降は、大事にしたい場所を1つ1つ取り上げ、具体的に大事にしたいことや、この場所での様な空間を目指していくのかということについて、写真などのイメージで入れ込んでいく。先ほど意見があった様に、例えば現地の植生というのは特に大事にしなければいけないといったことや、ここのエリアでは川との関係というのをこの様に大事にしなければいけない、ということを書き込んでいくイメージかと思っているが、できるだけ文字よりも絵などビジュアルでイメージがつけられるようなものを目指してはどうかと思うのだが、いかがか。

【委員】 専門家が読んで分かるというよりも、市民の方々が読んで分かるという趣旨のものだと思うので、この様なまとめ方が具体的にできれば、情報をわかりやすく伝えられるのではないかなと思うので、望ましい方向性なのではないか。本事業には公共事業に関する部分も含まれるが、町田市は「町田市公共事業景観形成指針」をつくっているの、ここにもその内容が反映されているというのが分かるような形でまとめていければと思う。本事業が町田市がやっていることと全く別世界として存在するのではなく、きちんと町田市景観計画や町田市公共事業景観形成指針のここの部分を反映しているのだということを見ていくべきである。

【部会長】 補足だが、今回の答申をまとめるに当たっては事例で出したまとめ方に加えて色彩のイメージについても入れたほうが良いのかもしれないと思う。

【委員】 いずれにしろ、こういった図版で示していくのが一番良いと思う。色を数字で表すというのでは意味がない。

【部会長】 では、大きな方向としては、できるだけ住民の方々に理解していただける様なビジュアルの方向かつ、町田市は公共空間の縛りがかかるためのものでもある公共事業景観形成指針をちゃんとつくっているの、そこをしっかりと入れ込んでおきながら設計の意図がこの先何年か進行するに至ってもぶれないようなものになるようにしていく必要がある。あわせて今回、商業地エリア、公園エリアなど様々なエリアがミックスされているが、そういった中で住宅の方から見たときに、みどりや、あるいは色彩などのバランスが取れているかどうかという様なこともこの中に書き込んでいくという整理をしていければと思う。

では、このまとめ方で行きたいと思う。

【委員】 そこに加えてだが、今回、やはりパークライフという様なコンセプトからしても、そういった公園、あるいは公園的な空間というのを沢山つくっていかうという方向性だと思う。今、特に話題になっているのが、そういった公園の様な公共ないしは公共的空間をいかにマネジメントしていくかということも、1つまちづくりの中で大きなテーマになっていると思う。にぎわいをつくることや、公園の利活用を進めるということもやはり1つの風景をつくる上

ですごく重要な視点だと思うので、ぜひその中には公共空間の管理の仕方、マネジメントの仕方についても何か方向性として出せるものがあれば加えていければと思う。

【部会長】 この後開催される景観審議会への報告事項としては、全体のコンセプトとアウトプットをこの様にまとめていくということになると思うが、次回の議論に向け、今回の南町田の中で、特に市として、このゾーンを集中的に議論していくべきなのではないかという案があれば説明していただき、追加などのご意見をいただいて次回の検討の材料にしたい。

【事務局】 まず、公園と商業の繋がる部分、これは今回の全体のプロジェクトの核でもあると考えている融合ゾーンである。ここは、先ほどの議論にも出てきている場所なので、しっかりつくり込みを考えていきたい。

次に駅前ゾーンである。こちらには南北自由通路があり、ここから外部に行き、商業施設を通り、公園、境川に繋がっていく所になる。

3点目がスポーツ・公園ゾーンになる。今回、鶴間公園の都市計画の公園の区域を拡大した部分である。この公園の間には都市計画道路が間に挟まっているが、ここの内容であったり、境川に面した所にあるといった部分が大切になるのではないかと考えている。

4点目が、周辺住宅地からの見え方で、商業施設の周辺には住宅があるため、そこからの商業施設の見え方について考えられればと思っている。

5番目が、国道246の上部になる銀河歩道橋周辺である。今現在も地元の方々も多く使われている場所であるので、こういった所を入れていければと思う。

6点目が、公園の顔のつくり方といった所で、田園都市線の線路際になる。都市計画道路があり、道路から来る方についてはこちら側が公園の顔になり、電車を利用される方は公園の気配や、公園の場所を確認できる最初の場所になると思われる。その様な玄関口といった所を見ていただければと思う。

【部会長】 今、重要なポイントが幾つか示されたが、これに追加したほうが良い場所や、拡大したほうが良いといったこと、特にこういうことを考えたほうが良い等のご意見があればお願いしたい。

【委員】 今、あまり具体化していないので、言及されていないかもしれないが、住み替え住宅を整備するゾーンがあると思われる。やはり全体として、どの様な建物の配置になるかというのは周辺の市民も一番興味を持つ部分であると思われる。直接的な利害やといったものにも絡んでくる部分なので、具体的にこれ位のボリュームの建物が建つということは示しながら、きちんと資料を作っていくしてほしい。

【部会長】 非常に大事な部分であると思うので、ここも足していただいたほうが良いだろう。駅前ゾーンが今、駅の真ん前になっているが、利用者はここを抜けていくと思われるので、実際に電車を降りた人からすると、駅前から商業エリアまで範囲を少し大きくしたほうが分かりやすいかもしれない。そうすると、商業のエリアも少し入ってくるため、先ほど意見が出ていたような、入口からどうみどりが繋がりがら中に引き込まれていくのかというところについても、ここで結構表現できるのではないかとと思う。

今回は、全体的な幾つかの既存の植生を生かすことや、川との関係というご説明でもいただいた部分を大事にし、次回こうした部分について具体的にこの様な点を大事にしながらか進めていくべきなのではないかという意見交換をしたい。